

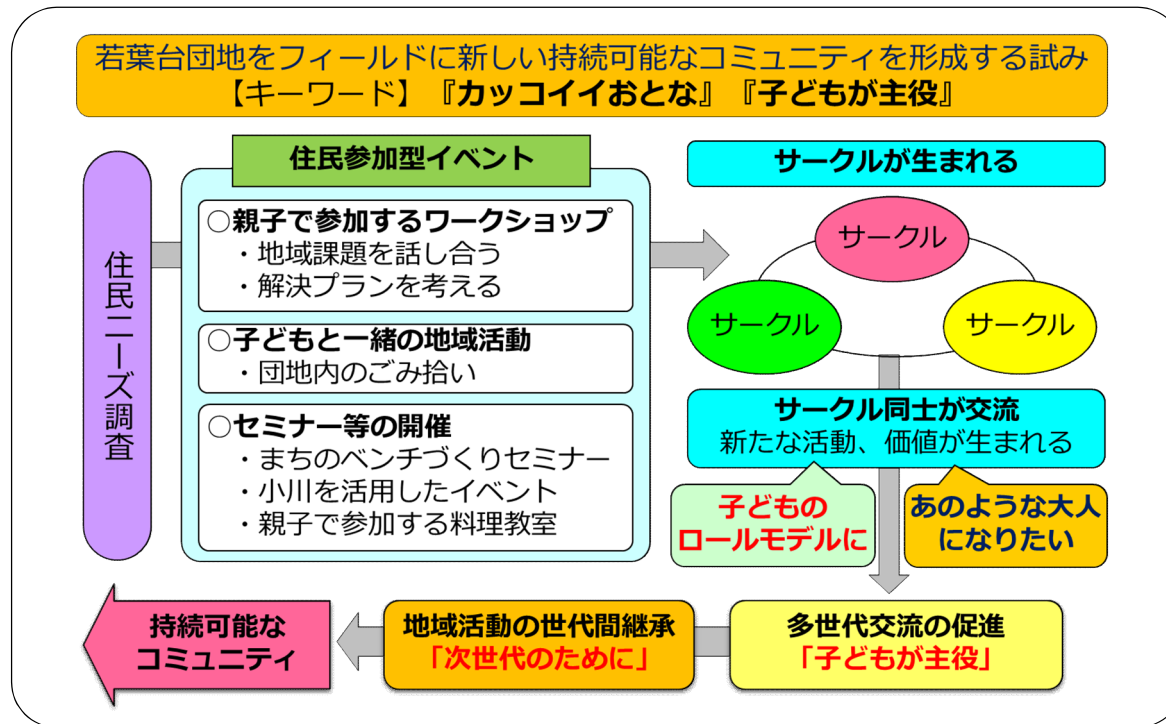
第一部会 「カッコイイおとなプロジェクト」 2019年度活動報告

かながわ人生100年時代ネットワーク会議
第一部会 「カッコイイおとなプロジェクト」
牧野 篤（東京大学大学院教育学研究科）

「子どもを主役にするカッコイイおとな」プロジェクト

地域のために一生懸命になっている姿を子どもに見せる
 子どものために一肌脱ぐ ⇨ 地域の持続可能性を高める

プロジェクトイメージ図



⇨NPO法人若葉台スポーツ・文化クラブとの連携

「実装」に向けた取り組みの実施

1. 進捗状況

第1回プロジェクト会議

2019年5月10日

- * 若葉台団地の概況を理解した上で、各メンバーから何ができるのかを提案
- * イベントを中心に、住民への訴求を図る
- * プロジェクトとしての枠をはめるのではなく、情報を共有しつつ各メンバーがNPO若葉台スポーツ・文化クラブと連携して実施する

第2回プロジェクト会議

2019年6月25日

- * NPO若葉台スポーツ・文化クラブが実施している「夏休み子ども広場」にメンバーが参加。イベントやプログラムを提供
- * 継続性を考慮したプログラムを編成すること
- * 主観的な幸福感が大切

第3回プロジェクト会議

2019年8月27日

- * 6月20日実施の「ボランティア研修」、8月5日実施の「夏休み子ども広場」、9月15日実施予定の「若葉台健康フェスタ」について報告**
- * イベント中心に住民への訴求を図ったが、今後は継続性を重視したい**
- * それぞれのメンバーが得意分野を活かす形でコミュニティと関わるあり方が見えた**

第4回プロジェクト会議

2019年11月22日

* 9月15日実施の「若葉台健康フェスタ」の報告

午前58名・午後53名 合計111名の参加

体力測定と精密機器での健康チェック／住民の健康意識向上の一助に

学生と地域住民との交流・定員以上の参加・多少の混乱

継続を目指して、住民参加型の健康フェスタの可能性を探る

* 小学校で実施予定の「バリア探検隊」進捗報告

* ICT活用のプログラミング教室(構想)

* 「食」を活かした講座(構想)

【議論】

* 現役の第二世代をどう巻き込むか→第二世代部会の構想あり

* おやじの会の参加も気持ちはある→どんどん関わって欲しい

* 若葉台は当時の現役世代がつくってきた

* 学生参加の促進方策→ボランティアでは参加しない

* 団地のブランディング化必要

* 子どもたちが大切にされている感覚持てるように

第5回プロジェクト会議

2020年1月16日

個別事業の進捗状況報告

- * 第二回若葉台健康フェスタ→4月19日予定、午前：子ども・午後：高齢者
ランニング協会とコラボ・パルシステムなどとの協働・他の企業との連携も検討
- * バリア探検隊→小学校高学年での定期開催検討、若葉台団地の構造も要検討
- * プログラミング教室→20年度夏に開催したい
- * ものづくり教室→おとな対象のベンチづくりなど・英語講座も・地域講師も検討

【議論】

- * 継続要望強い
- * 「この指とまれ」方式を拡充していく
- * 世代交代の必要性→現役世代は模索中・「親子」がキーワード
- * たくさんの小さなコミュニティ・居場所をつくることで、徐々に世代交代を
- * 地域で成果を共有できるようなつくりかたが必要

第6回プロジェクト会議

2020年3月19日予定→新型コロナウイルス感染拡大のため中止

2. それぞれの取り組み

(1) ボランティア研修 2019年6月20日

NPO法人横浜移動サービス協議会による 障がい者の外出付き添いをするボランティア 「講習」と「実習」

主催：認定NPO法人横浜移動サービス協議会 ご協力：かながわ人生100歳時代ネットワーク
認定NPO法人若葉台

**障がい児・者の外出付添
ボランティア研修**

参加費
無料

障がい[肢体、視覚]の方の外出付添をするボランティアの研修です。
“講習”（座学）（障がいの知識や関わり方）と“実習”（障がい疑似体験+バリア探検）をセットにした研修です。

内容 第1部 講習編（講師：横浜移動サービス協議会）（15-16時）
1. 身体障がい（肢体、視覚）の理解と関わり方、支援の仕方
2. 車いすの使用の基本と視覚障がい者の誘導方法（ともに当事者側、介助側の両方）

第2部 実習編（ガイド：横浜移動サービス協議会）（16-17時）
疑似体験とバリア探検
講習会場を出て、障がい疑似体験をしつつショッピングタウンわかばに移動します。そして通りとお店の入口の様子をバリア探検します。（車いすに乗る/押す、白杖を使う/導く4役）。
（注）バリア＝障がい者が行動で困難や不都合を感じる箇所、解消された状態をバリアフリーと言います。



日時 2019年6月20日（木）15:00～17:00 受付開始：14:45

場所 講習場所：若葉台地域交流拠点「ひまわり」

対象者 研修対象者は若葉台団地にお住まいの方で、申込み先着12名です。

持ち物 筆記用具 天候対応：小雨実施

問い合わせ、申込み：電話、FAX、e-mailで

Tel 045-212-2863 Fax 045-212-2864	かながわボランティア活動推進基金 21
e-mail guide@yokohama-ido.jp	認定NPO法人横浜移動サービス協議会 横浜市中区真砂町3-33 セルテ11階

FAX用

氏名	ご年齢	電話番号	FAX番号またはメールアドレス

- * 19人が参加
- * 「信頼関係が大切」との声
- * 子どもにとっては、コミュニケーションの重要性を理解し、
またどんな街が住みやすいかを考えるきっかけに
- * 今後も、子どもを対象としたプログラムを考えたい




(2)夏休み子どもの広場

- * 若葉台スポーツ・文化クラブが実施
- * スポーツを選ばなかった子どもが受講することに
- * その他、プログラム単体としても募集

- * NTTドコモ
プログラミング講座
- * 星槎大学
親子で工作教室
- * 保健福祉大学
食べ方マイスターになろう

夏休み子どもの広場

参加者のしおり



① 2019年8月5日～9日(月～金)
② 2019年8月19日～23日(月～金)

長いようであっという間に過ぎて行く夏休み!
朝は学校の宿題や勉強をして、そのあとはみんなでわいわいガヤガヤ、色々なニュースポーツを体験し、文化的な体験・社会体験をします。お昼を食べて、午後は図書館で本をよんだり遊んだり自由行動

主催: NPO法人若葉台・若葉台スポーツ・文化クラブ
協力: 学習ボランティア・中高生ボランティアのみなさん
青少年指導員・スポーツ推進委員のみなさん

このしおりを良く読んで準備をして、元気でお越しください。

住所: _____
氏名: _____ 様

次ページに参加日と、参加できるイベント(講座など)を記してあります

夏休み子どもの広場スケジュール

下記のスケジュールで実施予定です。前半 8/5(月)～8/9(金)、後半 8/19(月)～8/23(金)

時間	プログラム	場所	内容
～8:00	参加者は受付を済ませて下さい	ふれあい	笑顔と元気をご持参ください。名札を付けてね!
8:00	朝のあいさつ	ふれあい	「おはようございます」挨拶、スタッフ紹介
8:00～10:00	勉強の時間	ふれあい	涼しい部屋で夏休みの宿題や苦手な勉強などを行ないます。わからない所は高校生・大学生・一般の先生が教えて下さいます。
10:00～12:00	スポーツの時間(月) スラックライン・ヨーヨー 輪投げなど 自由の時間	8/5、19 体育館	輪投げで100 曲取るのは難しい、スラックラインは難しい、ヨーヨーは上手な人が少ないです。 NTTドコモのプログラミング講座もありません
	スポーツの時間(火) ボウリング、ボッチャ 工作の時間	8/6、20 体育館	ボウリングは初めての人がほとんどだね。 (2020 東京オリンピックの競技にあります) 最近の材料を使った工作教室もあります。
	スポーツの時間(水) ボール投げ、ドッジボール	8/7、21 体育館	やわらかいボールを上手に投げられるかな! 上手に取れるかな! 後半は ドッジボールもやります。
	スポーツの時間 (木)トランプゴルフ 電子顕微鏡で観察	8/8、22 校庭 理科室	校庭でグラウンドゴルフを楽しみます。ハーフです。 ホールインワンも出るかな! スポーツが苦手な人は理科室にて電子顕微鏡でミクロの世界を観察します。
	カレーの時間・スポーツの時間(ベタンク) (金) 食育の時間	8/9、23 サブコート (体育館)	みんなでカレーを作って食べます。100 円です。 食育講座の時間 もあります。(事前申し込み者のみ) ニュースポーツのベタンクやクロスミントを楽しみます。
8日～22日(木)16:00～19:00	ミクロを観る会 科学の時間	理科室	500 倍の拡大顕微鏡を覗かれる日を作り出したので、 ミクロの世界を観察して下さい。
12:00～13:00	昼食 昼休み	ふれあい	持ってきた弁当を食べる。食堂でカレーライス(280 円)や牛玉丼、中華丼(300 円)などを食べる。
13:00～16:00	図書館 大貫谷プール PC 室	図書館 大貫谷プール PC 室	図書館で本を読む。本を借りてふれあい館で読む。大貫谷プールへ行って泳いでも良いです。また横内で友達と遊んでも良いです。パソコン室でスライム作りもやります。(15:00 迄の日有り)
16:00	解散	ふれあい	みなさんさようなら、またあした!

* 途中で帰宅する人は「ふれあい」に必ず報告して帰宅して下さい。
若葉台スポーツ・文化クラブ

(2-1) プログラミング教室 (NTTドコモ)

* 2時間のプログラム

* embotを用いたプログラミング教室

* 親子で募集したが、親は補助役

embotでキッズプログラマーへの
第一歩を踏み出そう!

キッズプログラマーズ
スターターキット! embot

ダンボール と 電子回路 で つくる → プログラミングで
うごかすロボット!

embot とは?

小学生向けの
プログラミング教育ロボット

ダンボールでオリジナルの
ロボットをデザインできる!

タブレットでプログラムをして
ロボットを操作できる!

embot が選ばれる3のメリット

お子さま	ご両親	先生
自分で作った ロボットを動かすことで プログラミングの仕組み が実感しやすい	ダンボールで ロボットを作ること でお求めやすい 価格を実現	プログラミングの 経験がなくても 理解いただきやすい 授業マニュアルを準備

ドコモ法人窓口・専用ECサイトで販売中

<販売価格> 4,800円/台(税抜)
<対象年齢> 小学3年生～6年生程度

embot
公式サイト

小学校の授業で扱うサポートツールも発売開始!

embot
キッズプログラマーのスターターキット
embotの主な特徴と楽しみ方をご紹介します

お手頃価格で
誰でも気軽に
取り組める

実践的なプログラミング
基礎が身につく

タブレットで直感的な
プログラミング

embotから
身近なものを感じ

ダンボールで簡単に
ロボット工作

プログラミングを
身近に感じるロボット

自分だけのオリジナルに
デザイン

小学校でのembot体験授業や先生向けの研修会を
全国で実施してご好評いただいています。

体験授業

先生向けの研修会

©詳しくはドコモ法人営業担当者にお問い合わせください。
※掲載されている内容・サービスなどは、予告なしに変更する場合があります。

- * 子どもたちが楽しんだ
- * 上級生が下級生を手取り足取り指導
- * プログラミングと工作が合体
- * 自宅で続けることとプログラムの継続性が課題

今年はかながわ人生 100 歳時代ネットワーク、第一部会「カッコイイおとなプロジェクト」で、子ども広場の中で、月曜日には NTT ドコモさんの「embot プログラミングロボット教室」を開催



熱心に取り組む子ども



1年生には手取り足取りの指導を



僕たちは自分でできるよ



後半は音楽室で組み立て



(2-2) 身近な材料を使った工作教室 (星槎大学)

- * 8月6日と20日に開催 19名、14名の参加
- * 身近にあるものをつかった工作
- * 6日：面白メガネ、画用紙で帽子、紙人形
- * 20日：ピンボールのゲーム盤
- * エアコンが効かない中、熱中症の心配
- * 2時間楽しんだ
- * 一人ひとりが工夫して、思い思いの作品をつくりあげることができた
- * 今後は親子参加のプログラムも考えたい



火曜日には星槎大学さんの「身近な材料を使った工作教室」を開催いただきました



前半の帽子とパンダです



僕が作った帽子・笛・パンダ・メガネです



後半は木材（板切れ）段ボールを加工してゲーム機を作成



工作作業風景



(2-3) 食べ方マイスターになろう (保健福祉大学)

*** 子どもたちが成長の過程で健康の維持と向上に関心を持つこと
食の自己管理ができるようになることのきっかけづくり**

*** 食事バランスガイドを用いて、どれくらい食べたら良いのかを学ぶ**

*** 8月9日、23日に実施 9日13人、23日7人**

講座の流れ

- ① 食事バランスガイドの内容を学ぶ。
- ② 給食を教材に、主食、主菜、副菜の分類を理解する。
- ③ 自分に合った食事の内容と量を知る。
- ④ グループに分かれて、一日の理想的な食事メニューを作ってみる。
- ⑤ ④の発表を行う。
- ⑥ 振り返りシートで、今の自分の食事と比べる。目標とすることを決める。

参加者が考えた「食べ方マイスターになるための'めあて」

- バランスよくしたい（4年・女）
- おかしばかり食べず、やさいやたんぱくしつをたくさんとる。（4年・女）
- それぞれちょうどよくたべる。（4年・女）
- 炭水化物やてんかぶつをへらして、たんぱくしつをたす。（2年・女）
- きらいな野菜をへらす。（5年・男）
- 早めにおきてくだものをたべる。（4年・女）
- 自分で食べる量を考えて、増やしたりする。（4年・女）
- もっとたべたい。（1年・女）
- 主食、くだもの、にゅうせいひんをふやす。（3年・女）
- 学校では（給食）をへらすから、ちょうどよい食事をできるようにがんばる。（3年・女）
- 野菜をふやす。（3年・男、4年・男）
- 副菜をもう少し食べるようにする。（4年・男）
- 赤（主菜）、黄色（主食）、みどり（副菜）を朝昼夜いつもたべる。（3年・男）

*** 意欲的な子どもが多かった**
*** 主食・主菜・副菜のバランスまで考える子どもがいた**

金曜日には保健福祉大学さんが「食育講座（食べ方マイスター）」を開催いただきました。



食育講座風景（理科室）



バランスの取れた1日の食事表を作成



私たちのグループはこんな感じです



こちらのグループはすっきりです



(3) 若葉台健康フェスタ (昭和大学・神奈川大学)

＊健康チェックだけでなく、健康増進に役立つものを

＊大人向けと子ども向けのプログラム

＊プロの指導。学生も計測に関わる

昭和大学主催/ 神奈川大学・NPO法人若葉台・若葉台スポーツ文化クラブ共催

第1回若葉台健康フェスタ

ながわ100歳時代ネットワーク協力

この健康フェスタは、子供から大人までの健康増進を目的として昭和大学が企画運営を行い、神奈川大学及びNPO法人若葉台・若葉台スポーツ文化クラブとの共催で開催します。多くの方のご参加をお待ちしています。

参加費 無料

<午前の部> 大人向け講座と健康チェック

2019年 9月15日 (日曜日) 9時00分受付開始
場所: 若葉台地区センター体育館

第1部: 健康講座 9:30~10:30

腰・膝の痛みを和らげる運動の極意
昭和大学保健医療学部理学療法学科
(理学療法士) 講師 須山 剛介 先生

足腰を鍛えるためにも食事が大事
昭和大学保健医療学部看護学科
(看護師・管理栄養士) 准教授 安部 聡子先生

第2部: 健康・体力測定 10:30~12:30

【健康・体力チェック項目】呼吸機能・血圧・体組成(筋肉量・体脂肪量他)・握力・骨密度・認知度測定・食事調査・フレイルチェック他(動きやすい服装・室内履きが必要です)
・健康チェックは、ご自分の体の状態を知るためのものであり、病気の診断をするものではありません。また、結果は、個人が特定されない形で今後の健康増進研究のための資料とさせていただきます。

申し込み期間: 8月1日より開始
定員になり次第締め切らせていただきます。

受付時間 平日10:00~16:00
若葉台スポーツ文化クラブTEL: 045-921-0404

<午後の部> 親子 (小学生とその親) で参加

- 投げ方教室 (元プロ野球選手による実演有)
- 親子体力測定・理学療法士による姿勢チェック

参加費 無料

2019年 9月15日 (日曜日) 12時30分受付開始
場所: 若葉台地区センター体育館

第3部: 健康講座 13:00~14:00 **元プロ野球選手 実演あり!**

投げ方教室
～親子でキャッチボールをしよう～
★身体の使い方、投げるコツ、親子でキャッチボール
元プロ野球選手による投球のお手本
神奈川大学 人間科学部
准教授 石井 哲次 先生
講師 石橋 秀幸 先生

第4部: 体力測定 14:00~15:30

姿勢を直してパフォーマンスを上げる
★理学療法士による姿勢チェック
昭和大学保健医療学部理学療法学科
(理学療法士) 講師 加茂野 有徳 先生

【体力測定項目】親子 (小学生と親) で参加・室内ばき持参
筋力測定 (下肢筋力、握力)、柔軟性測定 (肘、足首)
敏しょう性測定 (反復横跳び)、バランス測定 (片足立ち)
理学療法士による姿勢チェック他
・結果は、個人が特定されない形で今後の健康増進研究のための資料とさせていただきます。

午前 (第1部・第2部) 大人向け健康講座と健康・体力チェック
午後 (第3部・第4部) 親子のスポーツ講座・体力チェック

申し込み期間: 8月1日より開始

- ・定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ・定員: 午前・午後とも50名 (午後は親子25組)

受付時間: 平日10:00~16:00
若葉台スポーツ文化クラブTEL: 045-921-0404

大人向け講座と健康チェック



投げ方教室



「若葉台健康フェスタ」(2019年9月15日実施)

午前58名・午後53名 合計111名の参加

**体力測定と精密機器での健康チェック／住民の健康意識向上の一助に
学生と地域住民との交流・定員以上の参加・多少の混乱
継続を目指して、住民参加型の健康フェスタの可能性を探る**

- * 神奈川県「未病」にもつながる**
 - * 若葉台の住民の健康につながるように活用したい**
 - * 小規模の講座を継続的に開くなど今後の展開につなげたい**
 - * 住民の間に、フレイルチェック隊などを組織できると良い**
 - * 子どもも含めた、住民の健康を増進するような人材育成の仕組みが欲しい**
- * 今後、様々なアクターとの連携・協働を模索して、継続実施を検討**

3. 当面の展開と課題

- * イベント中心で、子どもや住民に訴求することを第一に考えたため、継続実施の面で、課題が残る
- * 主宰者が基本的に第一部会メンバーという部外者であるため、これを住民自身による取り組みへと組み換えることが求められる
- * これは継続性という観点からも必要なこと

- * 「子どもを主役にする」カッコイイおとなになるために、子どもを主役にするような参加の形を考える必要がある
- * イベント中心主義ではなく、連続講座に子どもを巻き込み、かつそれを日常の活動へと組み換えるような取り組みが求められる

4. 一つの試み：「この指とまれプロジェクト」

かながわ人生100歳時代ネットワーク

「この指とまれプロジェクト」

提案募集のご案内（2020年度実施分）

募集期間 2020年2月10日（月）～3月16日（月）

「この指とまれプロジェクト」は、かながわ人生100歳時代ネットワーク（以下「ネットワーク」という。）のメンバーが、社会、地域、県民に貢献するプログラムを企画・提案し、そこにネットワークメンバーが協力して、プログラムを実施（自走）していくことを目的としています。

多くの連携・協力が生まれ、ネットワークの活動そのものが活発化する様々なご提案をお待ちしております。

「この指とまれプロジェクト」
の公募開始

個人・団体が企画を提案
この指とまれ！で、ネットワーク
メンバーが集まり、事業を
実装していくとりくみ

2020年度以降は、NPO法人
若葉台スポーツ・文化クラブ
が事務局を担当予定

「この指とまれプロジェクト」 / 事業の流れ

① プログラム募集期間

2020年2月10日（月）
～3月16日（月）正午

社会・地域・県民に貢献するプログラムを**提案書（概要）**
【Word版】に記載し、事務局まで提出して下さい。

② 提案プログラムの周知

2020年3月下旬を予定

上記期間に提出された提案書（概要）**【Word版】**は、3月下旬を目途に、ネットワークの皆様あて送付いたします。

③ プレゼン用の提案書提出

2020年4月24日（金）正午

プログラムの提案者は、**プレゼン用の提案書**
【PowerPoint版】を作成し、事務局まで提出してください。

④ プレゼンテーション 及び意見交換

2020年5月18日（月）予定

ネットワークメンバーに向けて、プレゼンテーションを実施します。
プレゼンテーション後、個別ブースに分かれてマッチング交流会を実施します。
※5/18の開催通知は別途送付いたします。

⑤ プログラム実施メンバー の確定

2020年5月末日

5月末日までにマッチング状況を、事務局までご報告していただきます。

⑥ 6月以降 プロジェクトスタート

準備ができ次第スタートとなります。

⑦ 中間報告

2020年10月末日

2020年10月末日までに、プロジェクトの進捗状況を事務局まで報告していただきます。
※簡易様式を事務局で御用意いたします。

⑧ 成果報告

2020年11月（予定）
2021年5月（予定）

プログラム完了後に行われる「かながわ人生100歳時代ネットワーク会議」において、成果報告を行っていただきます。

ねらい

- 社会、地域、県民に貢献するプログラム

プレゼンの構成

- 事業の概要
- 事業の期待する効果
- 事業の実施場所
- 事業のスケジュール
- 期待するリソース
(財政面、場所、人脈、スキル等)

実施期間

- 2020年度内

事業参画

- 提案者+参画者1人以上 = 2者以上

■ 提案書（概要）【Word版】

- 様式：「**提案書（概要）【Word版】**」をご提出ください。
※1～2枚で簡潔に作成願います。
- 提出期間：2020年2月10日（月）～ 3月16日（月）12:00
- 提出先：かながわ人生100歳時代ネットワーク事務局までメールで送付ください。
アドレス【jinsei100sai.nm61@pref.kanagawa.lg.jp】

■ 提案書（プレゼン用）【PowerPoint版】

※プログラム提案者にご提出いただくものです。

- 様式：「**提案書（プレゼン用）【PowerPoint版】**」をご提出ください。
提出期限：2020年4月24日（金）12:00まで
提出先：かながわ人生100歳時代ネットワーク事務局までメールで送付ください。
アドレス【jinsei100sai.nm61@pref.kanagawa.lg.jp】

「この指とまれプロジェクト」 / プレゼンテーション及びマッチング

■ 時期、場所

2020年5月18日（月）午後、県庁近くの会議室

※詳細な日時等については、別途ご連絡いたします

■ 発表時間

1団体 5～10分程度

※提案プログラムの件数によって発表時間が変更する場合がありますのでご了承ください。

■ 発表方法

提案書（パワーポイント）について、壇上から説明していただきます。

※当日はパワーポイントをスクリーンに投影いたします。

■ 意見交換及びマッチング

プレゼンテーション後、提案者と参加者との意見交換の時間を設けます。

※提案者は個別ブースに分かれます。

■ マッチング状況の報告

5月末日までに、マッチング状況を事務局にご報告していただきます。

**新型コロナウイルス感染拡大
にともなう緊急事態宣言発令
により、プレゼンテーション
とマッチングは中止**

**応募団体相互がオンラインで
交流し、またマッチングを進
めた**

13団体からの応募があった

「この指とまれプロジェクト」応募団体(2020年度分)：団体名・提案プロジェクト名

1. 株式会社横浜フリエスポーツクラブ「若者目線で商店街の隠れた魅力発掘!!」
2. 株式会社横浜フリエスポーツクラブ(横浜FC)「スポーツビジネスの実課題解決にチャレンジ!!」
3. 一般財団法人アイオーシニアスシヤハン「高齢化社会におけるシニア向けデジタルライフスタイルの啓蒙と生きかいの創造」
4. 横浜国立大学成長戦略研究センター「人生100歳時代セミナー 1未来設計
一定年前に何を準備するか 2ベンチャー設立・運営—事業を始めるには何を準備するか」
5. 特定非営利活動法人横浜移動サービス協議会「Web コミュニティを創ろう
~すべての人が地域で輝くために」
6. NPO法人若葉台スポーツ・文化クラブ「「カッコイイおとなプロジェクト」(若葉台団地)」
7. ハロニム株式会社「さわれる動画テクノロジー「TIG(ティク)」の導入」
8. 株式会社あびふる「中高齢の夫婦対象のお互いを理解するセミナー「e-fuf」開催」
9. 学習サークル BE-GLOBAL「天の岩戸プロジェクト」
10. ソフトバンク株式会社「初心者のお悩み解決! スマホ教室」
11. 東京都市大学「PC の中身に触れてみよう」
12. NPO法人スーリールファム「新しいコミュニティづくりと地域活性化のための大人の文化祭「フェス!」開催事業」
13. 認定NPO法人 藤沢市民活動推進機構「生涯現役マルチライフプログラム「地域活動はじめての一步」」

NPO法人若葉台スポーツ・文化クラブ 「カッコイイおとなプロジェクト」(若葉台団地) の概要

【目的】

若葉台団地で、「カッコイイおとな」「子どもが主役」をキーワードとして、住民参加型のイベント等を開催することで、住民同士のつながり(子どもから高齢者まで)や顔の見える関係性を構築し、持続可能なコミュニティの形成へとつなげていく。

【活動イメージ】

地域の大人や企業や団体の協力者(大人)が子どもに教えられるような(カッコイイおとなになれるような)内容のイベントを幅広く実施

【期待される効果】

- ・ 郷土愛や自己肯定感を持った前向きな子どもの育成
- ・ 地域に小さなサークル(仲間のつながり)がたくさん生まれることで、活性化につながる
- ・ 地域活動に関わる現役世代の発掘・地域の担い手づくり

- * これまで団地内に閉じられていた活動が、外部の団体を取り込んで、活性化する**
- * 「カッコイイおとな」になることと次世代を育成することが団地の魅力化につながる**
- * 第一世代(団地創生期世代・高齢者世代) と第三世代(子ども世代)とが第二世代(現役世代)を意識づける**
- * 様々なアクターがかかわりつつ、地元の団体がコーディネータとなる**
- * 団地そのものが不断に活性化する仕組みの創出へ**

5. 成果・課題と今後の展開

*** 基本的な形は作ることができた**

⇒参加メンバーが地元の住民組織と連携しつつ、
できることをできるように行うことを基本として、
基本的な理念と情報の共有を基盤に、
あとは個別に事業を行う

⇒ある意味で「この指止まれ」方式

⇒より柔軟に事業を展開するためにも、
この方式は一つのモデルになる

- * 「子どもを主役にする」カッコイイおとなになるために、子どもを主役にするような参加の形を考える必要がある**
- * イベント中心主義ではなく、連続講座に子どもを巻き込み、かつそれを日常の活動へと組み換えるような取り組みが求められる**

**⇒第二世代が意識化し始めている
+ NPO若葉台スポーツ・文化クラブ
が中継ぎとして作用する**

*** 事務局の担い手、いわゆる第二世代の参加による
活動の活性化も課題**

**⇒ NPO若葉台スポーツ・文化クラブが中継ぎ
+ 大学など新たなアクターのかかわりへ**

**⇒ 高齢者と子どもという結びつきを基本としつつ、
地域社会で活発に動くことで人々を惹きつける
魅力を発信することが期待される**

⇒ 団地のブランディング

*** 今後は、それぞれのアクターが個別に
継続的な事業を展開することが基本となる**

**⇒ 「この指とまれプロジェクト」が一つの形となる
⇐ 第二世代がどこまでかかわりつつ、引き継げるか**

6. 3年間の基本的な評価

基本的課題意識：

社会構造の変容

**(人生100年時代・少子高齢人口減少・経済構造の変容
・社会格差の拡大・人々の孤立など)**

新たな関係性構築の必要＋新たな価値観の必要

⇒子どもたちが主役になる

⇒高齢社会のあり方

=子どもたちを主役にする「カッコいい」おとな

⇒「カッコいい」おとながいきいきと活躍するまち

かながわ人生100年社会ネットワーク会議メンバー

といういわば「よそ者」が議論して、若葉台団地に持ち込む

基本的イメージ：

子どもを主役にする「ちいさな社会」

「ちいさな社会」を担うおとなたち

⇒子どもたちが自分でつくる「ちいさな社会」

学校との協働

**コミュニティスクールをベースとして
地域学校協働活動を組織**

**子どもたちが社会の主役として
多様な経験を積み
「社会」を担う**

子どもとおとなが循環する地域コミュニティへ

ちいさな社会

子どもが活躍するセミナー
学びの場・担い手づくり

若葉台団地
子どもが主役
プロジェクト

HQ
(子ども
おとな
公社・地元
学校・大学
など)

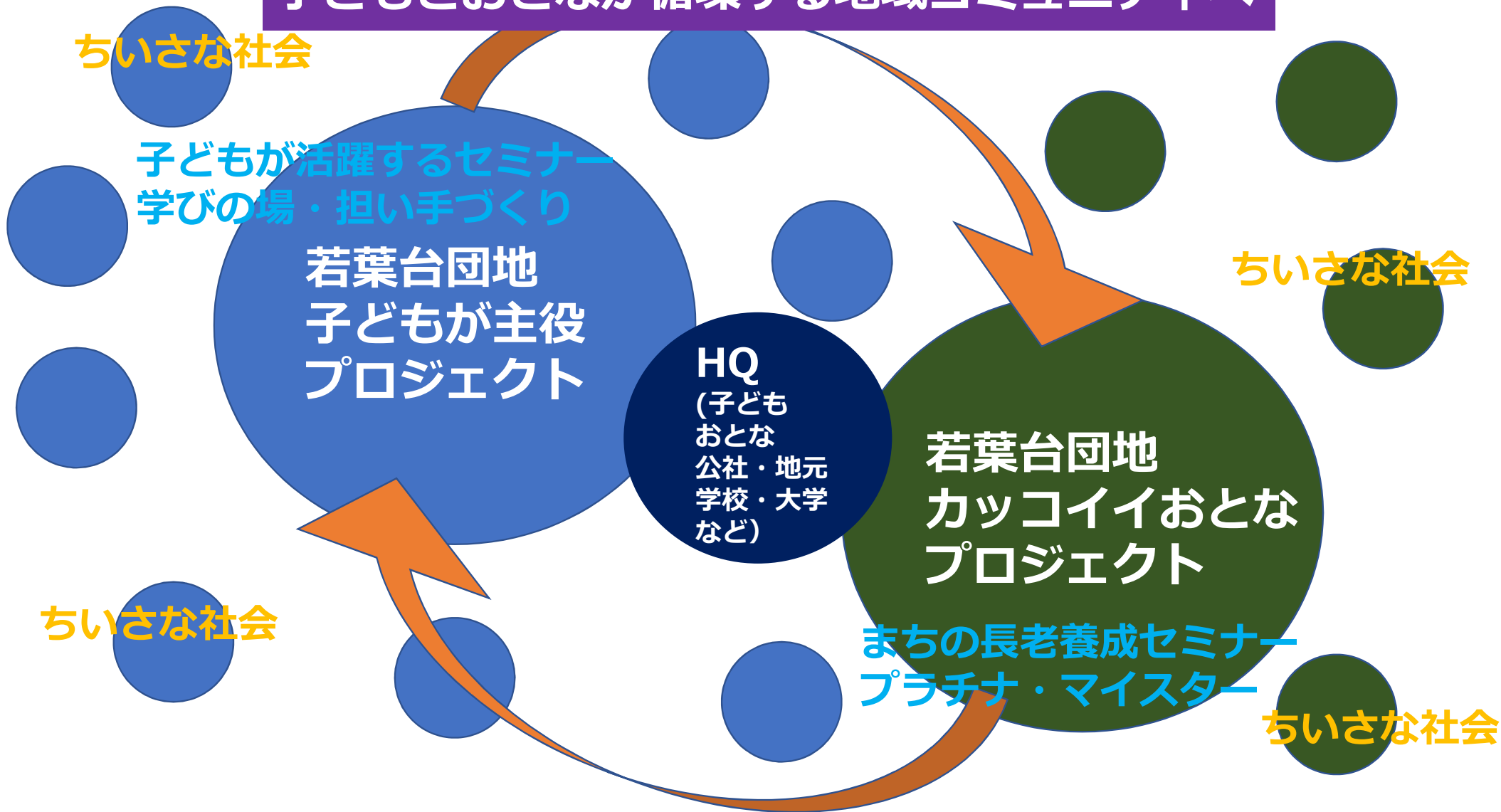
若葉台団地
カッコイイおとな
プロジェクト

まちの長老養成セミナー
プラチナ・マイスター

ちいさな社会

ちいさな社会

ちいさな社会



実施イメージ

- * アンケート
- * イベント
- * セミナー
- * ちいさな社会づくり
- * 地元で展開

子どもが主役になるまちづくり

- * セミナー
- * イベント
- * カッコイイおとなが子どもと交流
- * おとながもっとかっこよくなる

団地そのものの持続可能性を高める

若い世代が関心を持つ団地のあり方

文化的な魅力=人々の交流がつくる魅力

**➡NPO若葉台スポーツ・文化クラブと連携
若葉台団地で実装**

➡若葉台団地「子どもが主役プロジェクト」

**かながわ人生100年社会ネットワーク会議メンバー
とNPO若葉台スポーツ・文化クラブが連携**

**メンバーができることを提案
NPO若葉台スポーツ・文化クラブがコーディネート**

若葉台団地で実施

**⇒「子どもを主役にするカッコいいおとな」
プロジェクトのあり方を実装しつつ検討**

➡外部から持ち込みつつ、団地のあり方を変える

【課題】

- * イベント型と継続型の取り組みの関係**
- * 事務局体制(主体とバックアップ体制)**
- * 子どもたちへの地道なかかわり (朝・放課後など)**
- * 学校をどう巻き込むか**
- * 保護者・PTAがどう関わるのか**

⇒各団体が事業案を提示しつつ検討⇒実施へ

6月20日「ボランティア研修」(横浜移動サービス)

8月 5日「夏休み子ども広場」

***NTTドコモ**

プログラミング講座

***星槎大学**

親子で工作教室

***保健福祉大学**

食べ方マイスターになろう

9月15日「若葉台健康フェスタ」(昭和大学・神奈川大学)

継続性とそれを担うコーディネータの必要性

NPO若葉台スポーツ・文化クラブが中継ぎ 第二世代の意識化

- ⇒ 「この指とまれプロジェクト」の基本形(フレーム)の形成
- ⇒ 「この指とまれプロジェクト」の試行的実施
- ⇐ NPO若葉台スポーツ・文化クラブの
「この指とまれプロジェクト」提案
= 「子どもを主役にするカッコイイおとなプロジェクト」

【成果】

少子高齢社会における地域コミュニティの
新たなつくりかたに対して、
一つのモデルを提示
⇒「この指とまれプロジェクト」

外部のアクターと内部のコーディネータが
「次世代」をキーワードに連携協働し
できるものができるところから、
できるアクターと一緒に
事業を行い、子どもたちにかかわって、
子どもたちにいきいきと生きる姿を見せ、
子どもたちを担い手へと育成する